



8/2 第9回四国中央市首都圏交流会



東京都千代田区で本市ゆかりの企業が集い、情報共有を図ることなどを目的として開催されました。本市ふるさとアドバイザーで、専修大学教授の石川和男さんが、「顧客は何を買っているのか？～古くて新しい製品（商品）の考え方～」と題し、マーケティングについて、多くの事例とともに分かりやすく講演しました。

8/18 ハニカムペーパーで遊ぼう



妻鳥町の紙産業技術センターで行われた体験教室は、市民にさまざまな紙に触れてもらい、紙の普及啓発を行うことを目的に、同センターが平成15年から開催しています。参加した親子連れなど約20人は、職員の手ほどきを受けながら、市マスコットキャラクター「しこちゅ～」など、思い思いの作品づくりを楽しみました。

8/19 てらの・金砂湖畔広場 夏の感謝祭



水の恵みに感謝するとともに、嶺南地域の活性化を図ることを目的に毎年実施されており、今年度は金砂湖畔公園で行われました。産直市やバザー、富郷ダム見学、木工製品即売などいろいろな催しのほか、アメゴのつかみ取りが行われ、子どもたちはプールで素早く泳ぐアメゴを手で捕まえようと、一生懸命追いかけました。

8/21 U21 デフバスケットボール世界選手権 出場報告会



三宅渚紗さん（川之江高校3年生）が、7月6日から14日にかけてアメリカ・ワシントンDCで開催された、聴覚障がい者のU21デフバスケットボール世界選手権大会に出場したことを市長に報告しました。三宅さんは、日本代表チームのキャプテンとしてチームをまとめ、見事準優勝という快挙を成し遂げました。

8/21 地域おこし協力隊による「体験型農家レストラン」



古沖隊員が初めて企画し、富郷町寒川山の真観寺で、夏野菜を使ったピザ作りに挑戦しました。参加者たちは「お店で食べるよりもおいしい」と焼きたてのピザを頬張っていました。また地元の方が、地元で採れた食材を使った料理をたくさん用意してくれ、普段あまり食べられない料理も味わうことができました。

8/22 第10回スポーツ吹矢ジュニア競技会 結果報告会



愛媛県スポーツ吹矢協会愛媛やまじ風支部（宮崎邦宏支部長）の選手5人が、東京都足立区で行われた競技会での結果を報告するため市長を表敬訪問しました。6mの部で佐々木唯穂さん（三島南中学校1年生）が優勝。5mの部で星川沙弥佳さん（寒川小学校4年生）が準優勝と、好成績を収めました。



8/25 応急手当普及員に認定



市消防本部が、消防防災センターで8月1日から25日の間で3回にわたり応急手当普及員講習を開催し、小学校教諭1人、事業所5人、女性消防団2人、市職員1人に認定証を交付しました。認定者は今後、所属する学校や事業所、消防団や防災組織で、一般救急講習や消防職員と共に普通救命講習を指導することができます。

8/26 みすゞ塾公演 2018 ～ファンタジー金子みすゞの世界～



みすゞ塾は今年から3か年プロジェクトをスタートし、その1回目となる今回は、1月から練習を重ねてきた市内の小学4年生から60歳代の塾生と「座・東京みかん」の女優合わせて14人が、金子みすゞさんの生涯を描いた演劇を、福祉会館で披露しました。熱のこもった演技と歌に、観客から大きな拍手が送られました。

8/26 翠波高原コスモスまつり 2018



今年は例年よりコスモスの開花が早く、残念ながら見頃は過ぎていましたが、多くの家族連れなどでにぎわいました。会場ではOHANA BANDのステージ、フラダンス、とんとん！紙相撲やお楽しみ抽選会などが行われ、来場者はコスモスやイベント、バザーなどを大いに楽しみました。

8/25 四国中央市学校給食米収穫祭



土居町蕪崎のJAうまアグリセンターで開催されました。台風20号の影響で稲刈り体験は中止になってしまいましたが、昔の農機具体験をした後おにぎりパーティーが行われました。参加した子どもたちは、炊きたてのご飯で作ったおにぎりを口いっぱい頬張り、一足先に実りの秋を体感しました。

8/26 新宮鐘おどり



新宮町上山の稲茎神社境内大西神社で行われました。江戸時代に城主大西備中守元武の霊を慰めるために始まったとされており、県の無形民俗文化財に指定されています。境内では踊り子総勢22人が、勇壮華麗な踊りを披露しました。観客たちは、鉦や太鼓の音が響く山風の風を感じながら、夏の終わりを過ごしました。

8/27 ボランティア市民活動研修会



保健センターで、ケニア NGO のモヨ・チルドレン・センター主宰の松下照美さん（徳島県出身）が、「子どもたちの未来に希望を」をテーマに講演しました。集まった約50人の市民は、松下さんの活動やケニアの子どもたちの現状などについて話を聞き、自分に何かできることはないかと思いを巡らせていました。

8/27 四国中央市いじめ STOP 愛顔 (えがお) の子ども会議



消防防災センターで、市内の小中学生約 90 人が、いじめ根絶のための子ども会議を行いました。参加した子どもたちは「自分たちの学校では行っていない取り組みがあり、またさまざまな意見を聞くことで、自分のいじめや人権に対する考えが深まりました」などと感想を話していました。

8/29 ボーイスカウト四国中央第 2 団 市長表敬訪問



石川県で開催された第 17 回日本スカウトジャンボリーに参加したことを報告するため、市長を表敬訪問しました。「短い期間だったけど、充実した 1 週間が過ぎました」「自分の役割をスムーズにこなすことができました。より一層、スカウト活動のスキルを上げたいです」と大会に参加しての感想をそれぞれ話しました。

8/29 そろばん珠算競技大会で好成績



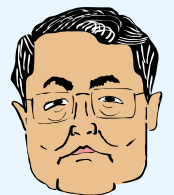
第 51 回雲州そろばん珠算競技大会で好成績を収めたことを報告するため、市長を表敬訪問しました。大会は 8 月 3 日に島根県で開催され、団体では小学 2 年生以下の部と小学 3・4 年生の部で優勝、個人では小学 3・4 年生の部、フラッシュ暗算の部 (4 年生以下の部) で優勝するなど、それぞれすばらしい成績を収めました。

9/2 四国中央市防災訓練



巨大地震により市内各所で甚大な被害が発生したと想定し、防災訓練を行いました。主会場の新宮小・中学校では避難者の受け入れ、消火訓練、煙体験、救命救急講習、健康管理訓練、給水訓練などを行いました。避難してきた住民約 40 人は、消防団員や保健師らの説明を聞きながら、真剣な表情で訓練に取り組んでいました。

市長のひとこと



四国中央市長 篠原 実

「新庁舎完成」

不謹慎な言い方をすれば、穏やかな大魔神が鬼の形相になって、日本中暴れだしたのではないかと思うほど、自然災害に見舞われている今日である。被災されたり、亡くなられたみなさんには、心よりお見舞い、お悔やみを申し上げます。

豪雨にしても、地震にしても、本市が襲われていても何ら不思議ではない。昨年、四国中央市は、自然災害から何とか逃れられている。自然と、裏の 6 体のお地藏さんに手を合わすとき力が入る。

新庁舎の本体が完成した。本心、やれやれである。さまざまな選択肢からの決断であった。旧の庁舎には、多くのひとの思いが詰まっている。新しい庁舎は、今からスタートである。どういう歴史を作っていくのか、9 万市民の目線が見つめている。

ありがたいと

思いうることは

幸せと、涙ぐましく

しみじみ思う

